

東京教区時報

WEB: <http://www.nskk.org/tokyo/index.htm> E-MAIL: comm.tko@nskk.org
Phone: 03-3433-0987, Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

08 フェスティバル特集号

2008年9月14日発行
日本聖公会東京教区
港区芝公園3-6-18
編集人 伊藤裕元

【2008フェスティバル】

フェスティバルにみんなで！

主教 植田仁太郎



2008フェスティバルを準備するに当たり、常置委員会から「教区の一致のため」という目標をフェスティバル実行委員会に託しました。実行委員会で決められたテーマは「あなたとともに」でした。すばらしいテーマが掲げられたことを皆様と一緒に喜び、フェスティバル当日が待ち遠しくなりました。

「また、あなたとともに」「平和の挨拶を交わしましょう」と唱和いたします。

説教者に、ソウル教区から金根祥主教様をお迎えしています(別掲)。

【説教者】パウロ金根祥(キムグンサン)主教プロフィール
パウロ金根祥主教は去る5月22日、大韓聖公会ソウル教区大聖堂において、大韓聖公会ソウル教区後継主教に按手されました。日韓聖公会の交流の窓口である「韓日聖公

説教者に、ソウル教区から金根祥主教様をお迎えしています(別掲)。

【説教者】パウロ金根祥(キムグンサン)主教プロフィール
パウロ金根祥主教は去る5月22日、大韓聖公会ソウル教区大聖堂において、大韓聖公会ソウル教区後継主教に按手されました。日韓聖公会の交流の窓口である「韓日聖公

日本聖公会 東京教区

2008フェスティバル

9月23日(火・休日)
立教女学院にて
(井の頭線 三鷹台駅下車)
10時30分～ 聖餐式
午後は出店・売券と「あなたとどけたい!」3分間音楽祭

あなたとともに

問い合わせ/教区事務所 03-3433-0987

会協働委員会委員」と1984年から携わり、2001年から委員長として活動をされています。

特に、東京教区ソウル教区青年協議会チャプレン、交流キャンプの指導者として多くの日韓の青年を導いておられました。ソウル教区では内里(ネ

リ)教会、永登浦(ヨンドウ)教会、ソウル大聖堂を歴任。教区の青年や若手神父たちのリーダーとして活躍されておられます。21日、27日、滞在予定。

現在：KNCC副会長
著書：信仰エッセー集
「寝るばかりのイエス」
家族：

母・李ナンヒ(トルテア)
妻・安ジョンヒ(テレサ)
娘・金ジエイン(ジエイン)
娘・金イエイン(エステル)

【あなたとともに】

実行委員長 司祭 前田良彦

東京教区のみなさん、今年の「2008フェスティバルーあなたとともに」のために、さまざまなお手伝いやご奉仕の準備に時間をもちいご協力いただいていることを心から感謝いたします。

今年のタイトルから「東京教区」の文字が消えているのは、教区の枠を超えた



参加を願うことでした。「東京教区」の文字は消したのではなく、「2008フェスティバル」のもとにあるのだとお考えいただければありがたいと思います。

祈禱書では「主は皆さんとともに」「また、あなたとともに」の祈りがかわされます。「あなたとともに」というフェスティバルのテーマはこの祈りの言葉にいろいろな思いを込めました。

今年度の礼拝は、フェスティバル・クワイヤールとリコーダー・クワイヤールの募集、午後のプログラムでは、毎回踊りや楽器が鳴り響くフェスティバルを思い、「3分間音楽祭」が誕生しました。

音楽祭には教役者合唱団も参加します。教役者のみなさんは意外と音楽好きですから、きつとすぐきな響きを聞かせてくださると思います。フェスティバルを通して東京教区の教会とその教会の働きに連なっているみなさんとともに、「あなたとともに」という思いを持ちながらご参加いただければと願います。9月23日にお会いしましょう。

【礼拝】

礼拝担当リーダー 司祭 宮崎 光

礼拝(聖餐式)では、神さまに呼び集められた者として、声を合わせ、心を合わせて感謝と祈りをささげ、神とともに、「あなたとともに」歩むことを感じ合います。

場所、立教女学院聖マリア礼拝堂です。この礼拝



のために編成される大聖歌隊とリコーダー・クワイヤールは、大人も子どもも、誰もが礼拝奉仕に主体的に関わり、みんなが支えあつて賛美をささげることが目的としています。

礼拝の流れをイメージしてみましょう。

聖職者及び奉仕者の荘厳な入堂行列に始まり、「世の終わりにまであなたがたと共にいる」(マタイ28・20)と約束してくださった主のみ言葉を中心にした聖書朗読と詩編唱の後、説教を聞きます。説教者は、韓国からキム・グ

ンサン主教(ソウル教区)をお招きします。東京教区との交流にも責任的に関わってこられた、若い新主教からの熱いメッセージが期待できます。「代禱(みんなの祈り)」は、この礼拝のために新たに作成したもので、子どもと大人の先唱で、世界のため、平和のため、人びとのために祈ります。「平和の挨拶」では、ぜひ

【だしもの】

だしもの担当リーダー 執事 中村 淳



「あなたとともに」おさ
さげする大礼拝が終了す
ると午後のプログラムで
す。最初に一緒に「お昼
ごはん」をいただきますよ
う。このフェスティバルに集
う「あなた」のためにたく
さんのグループがおいし
いものをご用意下さいま
す。また、楽しい役に立
つ品々を販売してください
ます。各ブースを回りな

ごどもたちにもたくさ
んの楽しいことが待つてい
ます。各出店ブースにはこ
ども向けのプログラムがあ
り、また、SS連絡会スタッ
フ会の方々がおいしいもの
楽しいことをいっぱい用意
してくださいます。ぜひ、
まわりのお子さまととも
に「参加下さい。」
お腹がいっぱいになつた
ら「あなたにとどけたい！

【奉献・献品先】

◆奉献(礼拝信施)

① A C T (Action by Churches Together) 世界教会協議会(WCC)とルーテル世界連盟によって設立された、災害救援・復興活動のための国際的支援ネットワーク。
② 韓国における外国人労働者支援活動(ウル教

区を通して)。
③ 辺野古の自然と平和を守る活動(沖縄教区を通して)。
④ ハンセン病回復者の被った歴史を想起するための全生園将来計画「人権の森構想対策委員会」。

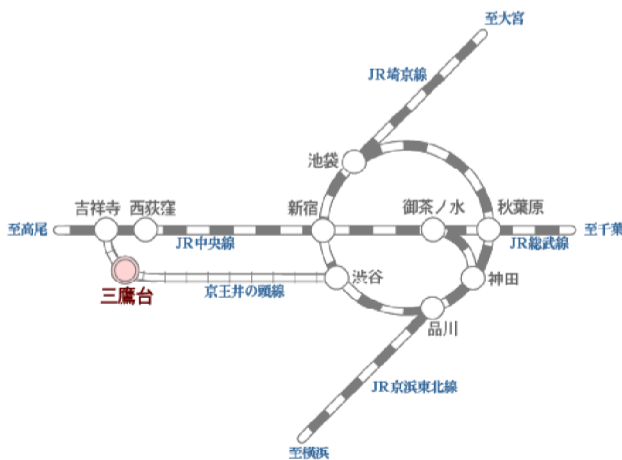
⑤ 精神障害者の自立生活を支援する民間ネットワーク「グループEVAH」。
⑥ 知的障害者授産施設

「まごめ園」(大田区)。
⑦ 児童擁護施設「福光会・子どもの園」(横浜教区)。

◆ 献品(お米、お米券・ビール券等)受付で)
浅草日曜給食活動(浅草聖ヨハネ教会・渋谷給食活動(聖パウロ教会グループ)・山谷地区炊き出し活動(きぼうのいえ・まりや食堂他)。

【会場への案内図】

井の頭線三鷹台下車



3分間音楽祭」です。聖マ
リア礼拝堂前特設ステー
ジにお集まり下さい(雨
天の場合はマリア礼拝堂
内)。わたしたちの教会に
つながる人々が音楽で「あ
なたに」アピールします。
たくさんチームが出演
します。

「あんなことをやってい
るのか」「こんなことをやっ
ているのね」など、新しい
発見、新しい気づきがきつ
とあります。元気になれる
かもしれません。
司会は竹下ユキさんで
す。教役者チームも出演
します。たくさん歌や
踊り、演奏で感じ取って下
さい。
そこに集うわたしたち
がみんな、「あなたとともに
」という想いに満たされ
る事を願っています。

★ ご案内 ★

フェスティバル事務局

【一般】

- ・「障害者」支援受付は、聖マリア礼拝堂入り口(坂下門側)にあります。必要あれば、どうぞお申し出ください。「障害者」用トイレは聖マリア礼拝堂北側入り口付近にあります。
- ・お車でのご来場はご遠慮ください。各出店者、「障害者」、高齢者など特に必要な方にはお申し出によって「駐車票」を配付します。駐車票がないと駐車できません。
- ・雨天の場合、出店は短大エントランスとなります。場所が狭くなりますのでご了承下さい。傘用ビニール袋を用意いたしますが、傘の管理は各自でお願いします。
- ・「浅草日曜給食活動」、「渋谷給食活動グループ」、「きぼうのいえ」「まりや食堂」などのため、お米1合ほどお持ちくださり、受付所で提供くださるようお願いいたします。お米券その他の食品・飲み物券でも結構です。
- ・「おもてなし広場」で出たごみ類は、それぞれで回収をお願いします。その他、食事などで出たごみ類は、各自お持ち帰り下さい。

【礼拝】

- ・礼拝(聖餐式)は、日本語・英語・ハンゲル・タガログ語・点字の式文を用意いたします。
- ・献品、献金は礼拝前に、受付にてお捧げください。
- ・礼拝堂での写真は広報委員会が撮ります。それ以外の方は自席でお願いします。

【イベント】

- ・物販、展示物の搬入、準備は8:30～10:20に終わっていただき、揃って礼拝に出席下さいますよう、お願いいたします。
- ・後片づけはみなさまご協力ください。16:30には撤収したいと思います。

【食事】

- ・22店舗の協力を得て、食事・お総菜など1400食ほど販売されます。
- ・セントラルコートでは飲食は出来ません。短大、中・高食堂、中庭をご利用下さい。

【ボランティア】

- ・いろいろ、ボランティアのご協力ありがとうございます。準備・片づけに人手が多く必要です。各教会・礼拝堂から1名はご協力くださるようお願いいたします。

※「献金袋」に書かれている奉獻先名称に一部誤植がありました。「EVHA」は「EVAH」です。お詫びして訂正します。

《企画》 広報委員会・フェスティバル事務局

《編集・発行》 広報委員会

似顔絵イラストレーション:宮崎光司祭

